



←昨年のそば祭り会場。新そばを味わう来場者と、それを支える地域の皆さんの温かい交流があらわれていました。

鶴形そば祭りの始まり

鶴形そば祭りは、平成16年に鶴形地域まちづくり協議会前会長・小林吉郎さんが、「地域にある鶴形そばを生かして、つながりを深めよう」と、当時の鶴形小学校を会場に始

めたイベントです。そばのふるまいやそば打ち体験、芸能発表などが行われ、地域の温かな交流の場として現在まで、親しまれてきました。まちづくり協議会や、鶴形地区そば生産組合や鶴形地区自治会連合会、市などが加わった

鶴形そば祭り、人がつなぐ地域の味

秋の恒例行事「鶴形そば祭り」。香り豊かな新そばを味わい、地域の魅力と人の温かさに触れる、笑顔あふれるイベントです。運営する鶴形地域まちづくり協議会の渡辺和吉会長にお話を伺いました。

実行委員会です。祭りを企画し、地域外にも参加の輪を広げ、「鶴形そばを味わう」という原点を大切にしながら今も続いています。

「祭りでは毎回1000食ほどのそばを準備しますが、売り切れてしまうこともあります。お客さんに満足して帰ってもらえるよう準備を重ねています」と渡辺会長。

地域に根づく支援の輪

祭りの企画は、実行委員会で前年の反省をもとに話し合いながら練り上げられます。婦人会をはじめ地域の方々が準備に自然と手を貸してくれるのが鶴形の強みです。「動けるうちは手伝うよ」と声をかけてくれる仲間も多く、こうした人々の思いが地域のまとまりを支えています。

若い世代は仕事で準備からの参加が難しい面もありますが、当日は多くの協力が集ま

次世代へつなぐ鶴形そば

コロナ禍では一度中止となりましたが、その後は規模を縮小して再開。感染対策を徹底しながら続けてきた祭りでも、現在は通常規模で開催できるようになり、会場に笑顔が戻りました。こうして地域の伝統が再び息づく一方で、担い手不足への危機感もあります。「自分たちがいなくなれば、鶴形そばはなくなってしまう」と渡辺会長。第五小学校では、地域学習で鶴形そばを学び、子どもたちは祭りにも

積極的に参加しています。渡辺会長は「子どもたちが鶴形そばの魅力を感じ、地域を支える存在になってくれたらうれしい」と語ってくれました。受け継がれてきた鶴形そばの味と地域の人々の想いは、これからも未来へとつながっていくでしょう。

そば祭り会場で食べられる新そばは格別の味わいです。ご家族や友人と一緒に、鶴形の秋の味覚と温かな雰囲気を楽しんでみませんか。

※開催日程については、左記をご覧ください。

あなたの「そば」で祭りだ！ ワッショイ！in 鶴形パート20

新そばの季節になりました。おいしい「鶴形そば」をご用意しておりますので、皆様のご来場をお待ちしています。今年では記念すべき20回目の開催となります。ぜひお越しください。

日時 11月2日(日)10時～14時
場所 鶴形地域拠点施設
内容 そば食堂、産地直売コーナー、お楽しみガラポン抽選会、東中コーナー
問合せ 鶴形そば祭り実行委員会(鶴形地域拠点施設内) TEL 58-3211



渡辺会長

ります。子どもたちも菜種油の販売などを手伝い、世代を超えた交流が生まれています。「関わってくれる人たちが頑張ってくれているうちは、私も頑張りたい」と渡辺会長は語ります。